



コラム

有識者の目から見た安全・安心まちづくり（32）

今回のコラムでは、NPO 法人奈良県防災士会 事務統括理事 末田 政一さんにご寄稿いただきました。

防災は「命を守る」ことから



まず最初に「何のために防災に取り組むのか」を考えてみて下さい。

物事には順序があります。防災にも順番があります。

ここ最近、各地で未曾有の災害が発生しています。

未曾有とは未だかつて無いという意味で、災害地域の方々もそんな思いであつたことでしょう。奈良県でも安全神話がはびこっていて、自分達は大丈夫だという根拠のない安心感があるように思います。それ故に「災害に対する耐久力が低い」のが実情です。

さて、災害というのはどの様にして発生するのでしょうか？地震や台風などが起因になるのはわかりますが、同じ規模の地震でも災害になるところとそうでないところがあります。実は起因が素因の耐久力を越えたとき災害が発生します。素因とは弱い街であつたり、建物であつたり、人であつたりします。その耐久力を高めることこそ、被害を防いだり最小限に抑える事が出来る方法なのです。地震や台風を制御することは出来ません。街や建物の耐久力を高めるのもなかなか大変ですが、「人の耐久力」は簡単にアップ出来ます。

言うまでもなく、一番大切なのは命です。家族や友人の命もちろんですが、まず自分の命を守ることを考えて下さい。皆さんの地域でも防災訓練をされていると思います。避難、消火、救出、救命、避難所開設等、すべて大事なことですが、自分が助からないと、そこにたどり着けません。家族を助けることも出来ません。折角の技量や知識を生かせないばかりか、逆に助けてもらう立場になってしまいます。子供もお年寄りも要支援者の方も、自分で自分の身を守ることが出来れば、家族にとって最大の防災です。普段は防災活動に参加出来ない方でも、自分を守ることで地域の防災力アップにつながります。

人間は身を守ることを難しく考えがちです。本能に従って「火が出たら逃げる」「グラッときたらじっとする」「弾が飛んできたなら隠れる」。たったそれだけのことでいいんです。

奈良県では毎年「ナラ・シェイクアウト（奈良県いっせい地震行動訓練）」を行っています。シェイクアウトとは「姿勢を低く、頭を守り、動かない」こと。緊急地震速報が鳴ったら、躊躇せず身を守る行動を取る！恥ずかしいと思いますが、あなたが率先して行う事で周りが真似をして、全員が助かる結果につながります。

さあ！勇気と自信を持って机の下に隠れましょう！

防災とは命を守ること！自分の身を守ることが、みんなの為になることを覚えておいて下さい。

【末田 政一さん プロフィール】1962年奈良市生まれ。元シンガーソングライター。2011年から都祁地区自主防災防犯会長。2015年から奈良市自主防災防犯協議会事務局長。2016年奈良市地域教育協議会交流の集い実行委員長。現在自主防災組織・危機管理・教育委員会協働の避難所開設協議に着手。現 NPO 法人奈良県防災士会理事（事務統括）。奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーとして各地で講演、訓練のサポートを続ける。